

## 資料提供

提供年月日：平成31年(2019年)2月8日

所属名：滋賀県環境事業公社

担当者名：河合、松延

電話：0748(88)9191

E-mail：ccs-kousha@shiga-kj.com

---

## クリーンセンター滋賀遮水シートの修復完了について

甲賀市甲賀町神に所在する(公財)滋賀県環境事業公社の管理型最終処分場「クリーンセンター滋賀」において、遮水シートの漏水検知システムが検知したことについて、以後調査を行い検知の原因となった遮水シートの傷を発見し修復しました。

その状況等は次のとおりです。

### 1 検知の状況

#### (1) 検知日時

- ・平成31年1月29日(火)16時21分に検知した。
- ・検知システムは一日2回、7:00と16:00に自動的に通電して検査し、検査結果を表示させるが、当日の朝7:21に出力された検査結果には異状を認めなかった。

#### (2) 緊急対応

- ・1月30日より廃棄物の受入を停止(一部別の場所での埋立の廃棄物を除く。)し、破損箇所へ廃棄物に触れた雨水が影響しないよう、付近の土砂や廃棄物を取り除いた。
- ・念のため鉛直遮水壁内に溜まった地下水は浸出水貯留槽へポンプアップし、浸出水として水処理を行った。

### 2 その後の対応

#### (1) 破損箇所

- ・現場で各所に通電しながら詳細に調査し、2月5日に破損箇所を特定した。
- ・破損したのは貯留部の埋立地に進入するコンクリート斜路の下に敷設された遮水シートであり、廃棄物は埋め立てていないところであった。

#### (2) 傷の状況

- ・遮水シートは二重構造となっており、上層の遮水シートに5.0mm×1.5mmの大きさの傷があった。上層の遮水シートを切り開き確認したところ、下層の遮水シートには傷は認められなかった。

### (3) 修復および確認

- ・ 2月6日に遮水シートの傷を修復し、現場に湛水して通電検査をしたところ、この傷は完全に修復できており、その他に傷はないことも確認した。

### 3 破損原因

- ・ この進入路を通して搬入する埋立地には、これまで一日5～10台程度の搬入廃棄物を埋め立てていた。
- ・ 1月29日から本格的にこの進入用コンクリート斜路に搬入車両(27台)を通して埋立を始めたが、その夕方に検知の表示が出た。
- ・ 当日多数の車両がこの進入路(コンクリート舗装)を上り下りしたことにより、コンクリート底面から出っ張った骨材で下層に敷設した保護マットに局所的に力がかかり、保護マットの下に敷設した遮水シートを圧迫して傷つけたと思われる。

### 4 地下水への影響

- ・ 下層の遮水シートに傷は無く、さらに、上層の遮水シートが破損した場所の上部に廃棄物が埋め立てられていなかった。地下水に影響を及ぼすことはなかった。

### 5 今後の対応

- ・ 同様の事態が発生しないよう進入路を構築する。(進入路の再発防止対策参照)
- ・ 2月13日(水)から廃棄物の受入を再開する。

クリーンセンター滋賀

平成30年4月20日撮影



### 破損箇所周辺の状況



### シート破損箇所の確認時状況



### 遮水シート破損箇所 (5.0mm × 1.5mm)



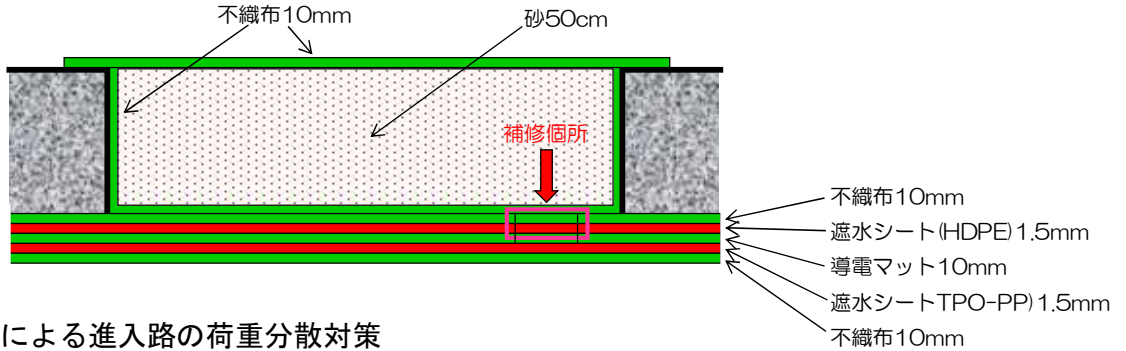


## 進入路の再発防止対策

### (1) 遮水シートの保護

補修個所の遮水シートは、保護砂により被覆し、シート面への荷重の軽減を図る。

図-1 補修個所の復旧方法模式図



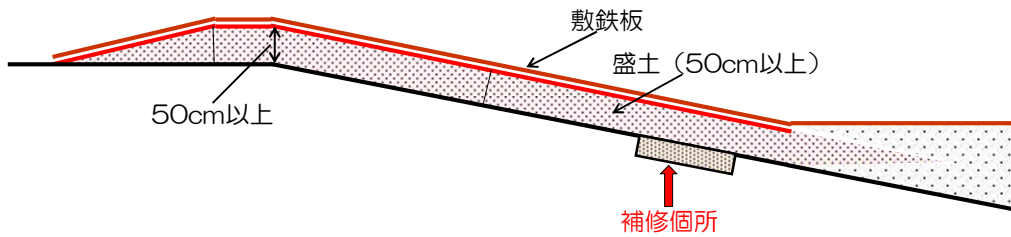
### (2) 盛土による進入路の荷重分散対策

補修個所より入口側の進入路（コンクリート舗装）上に厚さ50cm以上の盛土を行い、搬入車両による進入路の荷重を軽減する。

図-2 進入路の盛土イメージ



図-3 進入路の盛土模式図



### (3) 搬入車両の速度抑制による衝撃荷重の軽減

進入路入口手前のガードマンの指示により、搬入車両が一旦停止し、徐行で走行することで進入路への衝撃荷重を軽減させる。

